

## ■平成 28 年度予算編成の状況

### 1 予算編成方針の骨子

平成 28 年度予算編成においては、震災復興に係る継続的な取り組みを引き続き推進するとともに、新たに策定する「政策重点化方針 2020」に基づき将来に向けたまちづくりに積極的に取り組む。一方で本市財政は、財政構造の硬直化が進行しており、財政の対応力を維持しながら、将来に向けて必要な取り組みを着実に実施していくため、短期的な対応にとどまらない、将来を見通した長期的な視点を持ちつつ予算の重点配分や歳入確保に取り組む。

### 2 予算見積・調整の状況

(1) 予算見積 (10～11 月)

(2) 予算調製 (11～12 月)

(3) 予算事務内示 (12 月)

(4) 復活要求や以下の要素による追加・修正の要求 (1 月)

- ・国の補正予算と新年度予算を踏まえた予算見積の追加・修正や年次調整

(5) 平成 27 年度補正予算編成と合わせた最終調整 (1 月)

<一般会計予算における予算見積・最終調整の状況>

	歳入	歳出	差引(収支差)
(1) 予算見積集計	4,699 億円	5,108 億円	△409 億円
(2)～(5) 予算編成過程における精査・調整等※	+124 億円	△41 億円	+165 億円
最終調整後(財源対策前)	4,823 億円	5,067 億円	△244 億円

※精査・調整等の概要

- ・財源の精査及び基金等の活用による歳入の確保
- ・事業工程の精査による平成 28 年度予算への付替え (歳入+20 億円、歳出+27 億円)、国補正予算を活用した平成 27 年度予算への前倒し計上 (歳入歳出ともに△1 億円)、経常経費の精査、事業の年次調整等による歳出の調整

### 3 財源対策の状況 ※一般会計における最終調整後の収支差 244 億円への対応状況

	収支差対応(歳入)
財政調整基金繰入	+229 億円
市債管理基金繰入	+15 億円
	+ 244 億円

### 4 一般会計当初予算額

	歳入	歳出
2 最終調整後 + 3 財源対策	5,067 億円	5,067 億円